

利根労会議が定期大会開催



利根沼田労働組合会議の第23回定期大会が、11月1日に開催され、国民を苦しめている「構造改革」路線と「日米安保体制」を転換させるため労働組合の真価を発揮し、職場・地域から全力でたたかいていくという、11年度の運動方針を決定しました。

来賓として群馬県労働組合会議の安藤書記長と日本共産党利根沼田地区委員会の井之川博幸市議がお祝いと連帯のあいさつを行ないました。

放射線から子どもを守る会の測定隊

薄根小学校の通学路等の空間放射線量測定を行なう

12日午前9時から2人が参加し、井土上町の民家の雨樋下などを計測し、4箇所から毎時1.5～2マイクロシーベルトを計測しました。その後、薄根小学校の通学路を測定、全体として0.2マイクロ前後でしたが、通学路沿いで落ち葉がたまっているところでは、薄根郵便局前で0.477マイクロS、学校東側の草むらで0.334マイクロS、落ち葉たまりで0.352マイクロSを計測しました。



測定を行なう井之川博幸市議



狩野さんの作品「十六夜」

街角2人展

ゑびす講で賑わう下之町の街角 菊屋2階ギャラリーで、石倉とし子さんの「刺繍絵」と狩野久雄さんの「日本画」「板絵」による「2人展」が開かれていました。



石倉さんの作品を鑑賞する観客のみなさん

木田の小径音楽祭

13日、高橋場町住民センターにおいて、町商工会主催の「木田の小径音楽祭」が開催されました。演奏はアルパの倉品真希子さんとマンドリンの山室繁央さん。日本のふるさとの歌や古賀メロディなど2人のすばらしい演奏と音色にホールいっぱいの観客は酔いしれていました。



柳町文化祭

12・13日柳町公民館で第11回柳町文化祭が開催され、力作が展示されました。



読者からの投稿

坊新田町 飯田 武一

古代 群馬の王は東海（愛知県）からやって来た（2）

この弥生式土器は前橋南部から伊勢崎、太田方面の平野部からは発掘されない。この地域は弥生時代には無人の原野であった。それが3世紀の中ごろになると全く異なる東海地方（愛知県）に見られる土器（石田川式土器）が現れる。有力者のお墓も堀で周りを巡らし、前方部を四角く弓型にくびれを作り、後ろは丸くした前方後方形・方形周溝墓が造られるようになった。

群馬県には1万基を超える古墳があるが、初期の古墳は3世紀末から4世紀の初めにかけて作られた。前橋市の東南部、広瀬団地の一角にある八幡山古墳が代表的な古墳である（前方後方墳）。前橋市の南部に広がる広大な水田地帯は古墳時代になって開発されたものである。この古墳に被葬されたリーダーは大規模な農耕開発をし、群馬県の幕開けを行ったと考えられる。同時期に造られた古墳は高崎市元島名将軍塚古墳、太田市寺山古墳、栃木県足利市藤本観音山古墳などがある。

さらに4世紀前半になると前橋天神山古墳【129メートル・前方後円墳】、太田朝子塚古墳（123メートル）が造られる。前橋天神山古墳は長さ8メートルの割竹形木棺から三角縁神獣鏡を含む素晴らしい副葬品が多数出土した。ここには3世紀より発展した政治的勢力の姿を読み取る事が出来る。

2011年11月20日 No.585

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版 部内資料